

会 報



新しいスタイルへの変化と順応

- P 2 役員挨拶
- P 8 福岡先生を偲んで
- P 12 東海北陸ブロック会議
- P 13 理事会報告・新入会員紹介
- P 15 支部長会議

- ／ P 4 委員会より
- ／ P 10 研修会報告
- ／ P 12 全国青年部長会議
- ／ P 14 共済よりお知らせ
- ／ P 16 編集後記・表紙写真説明

表紙写真 「飯南町の巨大アマビエ」 撮影：新谷有紀

進む新しいスタイルへの変化と順応

会長 一見隆彦



昨年1月に国内で初めて新型コロナウイルスによる感染が確認され、4月上旬がピークとなった第1波の中で国は7都府県に緊急事態宣言を出し、その後全国に緊急事態宣言を出して全国民が自粛するという前例のない事態となり1年が経ちました。

以来、この感染症についてさまざまな研究がなされて多くのことがわかってきましたが、現在は第3波の真っただ中で、今までに経験したことがない厳しい状況が続いています。

コロナ禍が長期に亘ったときの対策等については、各事業案内文書や会報126号（昨年8月発行）にも書きましたが、この状況が長く続けば続くほど、ボクシングのジャブやボディーブローによって徐々に体力を奪われ、後半に足が止まるのと同様の結果が予想されます。

これに対しては心無いデマによって大混乱した経験等からあらゆる業種で対策がとられています。昨年4月の前回宣言のときに客が殺到したため、今回の宣言下エリアのスーパー等では、「密」を回避するために入場制限や、在庫2倍、落ち着いて、などのポスターで混雑緩和への協力などを呼び掛けるなどの対策を講じています。さらに前回の緊急事態宣言発令時に大混乱となったことを踏まえて、混雑の緩和と安定供給のために「備える」「消費する」「買い足す」のローリングストックを呼びかけています。

また、あまり報道されていませんが、電力需給の逼迫で、大規模停電に備える必要も言われています。これはテレワークや換気による暖の確保のためのようだと言われていますが、暖房機器として石油ストーブとその燃料の確保も必要でしょう。

災害への備えと同様であることは誰もが理解されていると思いますが、今回不足したものは普段から備えていれば何の問題もなくやり過ごせたものがほとんどですから、チェックして備えておいてください。

この1年間で、これまで当たり前と思って見えていなかった部分が見えるようになりました。報道はさまざまな視点・論点をについてできるだけ偏向を廃して

伝え、視聴者の正しい判断を促すものであるべきですが、偏りと歪みのある扇動的な報道が多いと言われている。有事の場合は複眼を持って見よと言われますが、確証バイアスによって自身に都合がよいものにロックされてしまいますと、ファクトかフェイクかの判断が難しくなります。

昨年10月に全国8ブロックで唯一行われた東海北陸ブロック会議はオンラインでの開催でしたが、そこで新型コロナウイルス感染症対応等についての意見交換が行われました。

その中で、患者数の減少について、いわゆる緊急事態宣言の期間を含めた1月から7月までの療養費取り扱い状況（1ヶ月ごとの前年比）は、1月4%、2月9%、3月11%、4月20%、5月33%、6月5%、7月8%の減少で、3月から5月までの3か月間では21%の減少でしたが、ブロック内の各師会から報告された数値に大差はなく、療養費については激減という数値ではありませんでしたが、実費の減少率等は不明です。

某保健所から、あはき以外のところに通院されている市民から「タオルを患者毎に交換していない。手洗いをしていない。コロナ感染対策に関して何の掲示もしていない。」との苦情電話があり、他では「通院している鍼灸院に、コロナ感染リスクのある中で通院していてもいいかと聞いたところ、丁寧に説明してもらったので安心して通院できるようになった。」との電話があったと伺いました。

鍼灸院が休業要請対象とならなかったことは大きな意味があり、私たちはそのことを認識して患者を診なければなりませんが、前例のない極めて厳しい状況ではあることには変わりはありません。

1年にわたって毎日新型コロナウイルス感染症関連のニュースが流れ、ほとんどの方々はハイリスクとなる条件を知っていますから、予防対策の不備は致命傷になります。前号にも書きましたが、コロナ禍で「三密」という新しい言葉が生まれ、最近では「黙食」などという言葉も出てきました。今は「手洗い」「消毒」「換気」「マスク＝ワクチン」「三密回避」ということは誰もが知っていることで、鍼灸院での感染対策の不備は通院患者の減少につながるでしょう。

日鍼会の鍼灸ネットを検索し、どれくらいの新規患者が通院されるかについてはずいぶん前にも伝えましたが、本会会員の鍼灸ネット登録数は58名で60%で

す。また、日鍼会ホームページに感染防止対策実施
 施術機関がリストアップされていますが、三重県師会
 登録者は13名です。これら会員特典であるさまざまな
 ツールを利用して、それぞれの経営に反映させていた
 だきたいと思います。

前号に「免疫力の向上」というキーワードを使い、
 養生ということを患者からその家族へ、また、友人知
 人へと伝わるように「待ち」ではなく「動き」に転じ
 ていただくようにとお願いしましたが、これは効果的
 なジャブになると思いますので、反復して積み重ねて
 いただきたいと思います。

現時点で濃厚接触者としてPCR検査を受けたとい
 う会員はありますが、感染報告がないことは幸いです。
 厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ（COC
 COA：機種変更などによってはアップデートが必要）
 は、1月13日現在のダウンロード数は2351万件で、
 要請登録件数7659件です。この利用者は陽性者と接触
 した可能性が分かることで、検査受診など保健所のサ
 ポートを早く受けることができますし、利用が増える
 ことで、感染拡大の防止につながると期待されてい
 ますので、この利用も対策の一つでしょう。

普及活動については、県内のスポーツ活動すべての見直し
 が始まり、関係者は感染防止との両立を模索していま
 すが、本会が県から要請された今年秋に開催される三
 重とこわか大会へのケア活動も同様で、参加団体はそ
 の準備に入っています。

しかし、研修事業がオンラインで行えるようになった
 ことは新しい形への一歩ですし、また、鍼灸院で行
 う業務の一端をオンラインで行うところも出てきてお

り、それぞれが経営努力をしています。

昨年末から急速に感染が拡大したために、先日2度
 目の緊急事態宣言が11都府県に出されました。その中
 に三重県は含まれておりませんが、県独自の緊急警戒
 宣言が1月17日に出されました。隣接する対象エリア
 との間には壁もドアもなく、あるのは地図上の境界線
 だけです。県の指針や日本鍼灸師会の感染対策ガイド
 ライン等を再度確認して見落としがないようお願い
 します。

阪神淡路大震災から26年が経ちましたが、このコロ
 ナ禍においての複合災害も考えておかねばなりません。
 2020年に起きた震度5以上の地震は7回ありましたが、
 南海トラフという危険エリアである三重県は複合災害
 の規模は最高レベルにあります。いつ起こるかかわら
 ない巨大地震の想定は誰もがしていると思いますが、
 今のコロナ対策を行いながら治療中と避難所を利用す
 る場合も考えて、県が示したマニュアルを基本にして
 準備が必要です。

ちょうど1年前は一昨年のラグビーワールドカップ
 が日本で開催され、その流れの中でラグビートップリ
 ーグが始まりました。全国の各会場は多くのファンが
 観戦に訪れ、満席になった鈴鹿市のラグビー場で観戦
 した試合を思い出しますが、早くそういう日が来てほ
 しいと願います。

そのためには今考えられるさまざまな事項を洗い出
 し、その対策をシミュレーションするだけではなく、
 ご家族や患者の皆さんとも協力しながら一貫したぶれ
 ない姿勢で実施し、万一の場合があっても互いに協力
 して乗り越えるようにしなければなりません。

徹底した「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」を！

新型コロナウイルス感染症の急速な拡大にともない、令和3年1月7日に1都3県に2回目の緊急事態宣
 言が発せられ、次いで大阪、京都、兵庫、また、愛知でも緊急事態宣言が発せられましたが、大都市圏だけ
 でなく全国的な感染拡大は三重県にも波及しており、爆発的な感染拡大を阻止するため、1月8日に「新型
 コロナウイルス感染拡大防止に向けた三重県指針 ver. 8」が発せられました。

- 「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた三重県指針 ver. 8」（2021年1月8日更新）
- 「新型コロナウイルス感染症に対する対応と院内感染対策」（第6版／2020年11月28日更新）
- 「新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」（第3版／2020年11月28日更新）
- 経済産業省などの経営支援給付金についてはそれぞれの状況に応じて各自申請してください。
- 厚生労働省のCOCOA（新型コロナウイルス接触確認アプリ）を利用してください。
- 所得補償保険以外に感染保障特約を付けられる新商品が登場しています。同封の保険の補償内容
 については保険会社担当者に相談してください。
- 自然災害対策としての準備と同様に日常的に点検・備蓄等に注意して万一に備えておいてください

各委員会より「昨年を振り返り、今後に向けて」



法人管理委員会～「密」な会員相互の情報交換を

副会長・法人管理総務担当 岡田 賢

新しい年を迎え、まずは皆さん、体調を崩されてはおられませんでしょうか？ご家族もお変わりございませんか？

未だ出口が見えない「コロナ禍」の状況下、会員諸兄はさまざまな経営努力を続けておられると存じますが、まずは社会全体が早く元のように動き始めることを祈るばかりです。

今年度の学術研修会や理事会をはじめ、東海北陸ブロック会議も感染拡大防止のためやむを得ずオンラインで開催してまいりました。

オンラインによる会議・研修会は、コロナ禍がもたらした「手洗い・三密回避・換気」に次ぐ社会的慣習になりましたが、本会事業も古き良き伝統は残しつつ、便利なツールは最大限に利用して、会員諸兄の利便性も追求していき、私自身は「ネット難民」にならないように、新たな情報に耳と目を向けたいと考えています。

最後に、このような状況だからこそ会員相互の情報交換は密に行いたいと思いますが、本会のメールアドレス把握率は99%で全国トップレベルです。この会員メールを利用し、是非ともレアな情報提供をお願いします。



法人管理委員会～コロナ禍の先の明るい希望

副会長・法人管理財務担当 新谷 有希

一年の始まりに、皆さんも一日も早い新型コロナウイルス感染拡大の収束を願われたのではないのでしょうか。

本会では密を避けるために研修会やほとんどの会議はオンラインで行いましたが、普及活動は全て中止となってしまいました。担当する財務部門では、コロナ禍における今年度予算執行状況の見直しと、次年度事業予算の策定を行っています。定款の目的事項にある「鍼灸業務を通じて国民の健康と福祉の向上に寄与する」ということを基本に事業を計画しますが、縮小財源とコロナ禍という現状で最善の事業予算を報告できるよう努めます。

後になってしまいましたが、元会長で相談役の福岡保延先生が逝去されました。令和元年5月の意見交換会で、福岡先生が「原稿を準備してきたので皆さんの前で話しをさせて欲しい」とおっしゃったのでスピーチをしていただきました。（本紙の追悼記事に写真があります）先生のご挨拶はこのときが最後となりましたが、いつも三重県鍼灸師会の発展を案じて、本会会報や日本鍼灸新報を楽しみにされていたことを思い出します。心より感謝してご冥福をお祈りいたします。

会員の皆さんには会員メールやLINE等を活用しながら繋がりを「密」にし、鍼灸医療を自分たちで守り、コロナ禍の先に明るい希望をもって頑張りましょう。



保険委員会～「公的審査会に参加して」

保険委員長 天野 治

日頃は保険業務にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

昨年4月より国保療養費審査会のメンバーとして業務を行っています。そこで判ってきたことをお知らせします。月1回の審査会は、13時30分に7人の委員が揃うと開会宣言がなされて審議が始まります。今のところ柔整の申請書について、数件いかなるものなのでしょうかというような案件について審議され、合議により処理されていき、これが終わると机の上に積まれた申請書の処理にかかります。

1ヵ月の鍼灸・マッサージの申請書（国保、後期分合わせて）はおおよそ3,000件あり、そのうち返戻付箋が付いた申請書が160件前後で、赤色の付箋が付いたものが10件前後あります。この赤色の付箋が付いた申請書について委員の意見が求められ、公平・公正な立場に立って意見を述べ、付箋に意見を書いたり問題なくOKと

したりしますが、結構難しいものから簡単なものまでいろいろあります。

本会を通して出されている申請書に関しては、付いている付箋の数が少ないとはっきり言えます。毎月事務所でやっている事前審査や点検の効果ができていると言えるでしょう。

鍼灸の申請書で多いのは「医科との併給」で、事前の患者確認が必要です。その他の記入もれや丸印の付間違いなどの細かいミスもありますが、先般の研修会資料「療養費支給申請に係る注意点」（保険取扱い会員に送付）をよく読んで、仕上がった申請書をもう一度再点検してください。レセコンを使用していても入力ミスは見られます。マッサージの申請書について特に気が付くのは会社組織からの申請で、全体の半分以上は何らかの組織からの申請となっていると思います。次回の料金改定では往療料の加算が無くされる見込みです（日本鍼灸師会より）。往療料の大きいマッサージの申請は少しずつ絞られていくのではないのでしょうか。

コロナ禍の今、職を失ったりして収入の減少した人が増加しているようですが、こういう時こそ鍼灸療養費を活用して、患者の皆さんが経済的に助かり、継続して治療を受けられるようにしてあげれば喜ばれるのではないのでしょうか。

今は病院も患者さんが診療を控える傾向にあるようですので、同意書を書いていただき易くなっていないでしょうか。ピンチこそチャンスと言われるようにアイデアを出し、また、自分にも鍼灸治療で免疫力を上げて元気になって、いつまで続くかわからないコロナ禍ですが会員全員が無事に乗り切られる様に祈ります。また会館で顔を合わせる日が来ることを願いつつ筆をおきます。



組織委員会～「プランを描き、目の前の課題を着実に」

組織委員長 楠原秀一

想定していなかった新型コロナウイルスによって、昨年から世界は大きく変わりました。

今、個人の生活でも変革が必要となっています。感染症などの非常時は、事態の動きも速く、見込みで動くことも必要とされると思います。事態が起きてから行動、指示しては遅いです。ただ全ての予測や見込みが正しいわけではありませんから、あやふやな危ない前提、かなり固い確かな前提かをチェックしなくてははいけません。不安定なときだからこそ、プランをしっかり描き、目の前の課題を着実にこなしていきたいと思います。

私事ですが、昨年は「そのうち」「いつか」と思わず、簡単にできることなら先延ばしせずに、すぐに実行しよう。時間がかかることなら、忘れないようにメモをとって計画し、休診日も頻繁に治療院に行っては院内の清掃を更にしやすいようにレイアウトの変更や、備品の準備など計画を立てて少しずつ実行していました。面倒に思うこともありましたが、イメージを練っているとわくわくして楽しく、少しずつですが形になっていくとうれしいものです。

昨年は良い話題のない年でしたが、変化がイイ気分転換にもなりあっという間の1年でした。

未だに出口が見えない状況の中、先の不安に飲み込まれずに今を一生懸命過ごしましょう。今後もですが、まず今日感染しない、感染を広げない対応をと一日一日で区切って頑張りましょう。



学術委員会～「学術研修単位管理システムの変更について」

学術委員長 奥田一道

昨年はコロナ禍により、さまざまな研修会や学会がオンラインでの実施にシフトしていく中で、課題はありながらもオンライン研修会の利便性が改めて評価された1年であったと思います。恐らく来年度も全国的にこの傾向は継続していくことが予想されます。

政府としてもデジタル庁の新設などにより、これまで以上にデジタル化を進める方針を明確に打ち出しています。今後の日本は、これまで以上にアナログからデジタルへの移行が加速度的に進むことが予想されますし、また、そうしていかないと世界の潮流に乗ることは不可能になってくるでしょう。

さて、日本鍼灸師会学術研修委員会・NELS事務局としても「学術研修単位管理システム（以下、GKシステム）」は、システム維持費や利便性などの問題から、2021年1月上旬を目途に変更することが決定されました。

代替手段として、スリム化した「新学術研修単位管理システム（＝NGKシステム）」に変更となり、eラーニングを担当する部門であるNELS事務局にて受講履歴の単位情報を一元管理することになります。

まずは、NELS事務局より「GKシステム」に登録されている会員の皆さんのメールアドレス宛てに、単位加算希望者登録フォームへの登録依頼のメール（2021年1月にメール予定とのこと）が届くようですので、そちらのメールをご確認の上、「単位加算希望者登録フォーム」より登録をお願いいたします。

これにより、単位加算希望者の方は、WEB上で随時、自身の単位加算状況が閲覧可能となるということです。

日本鍼灸師会が進めるeラーニングにも少しずつ新しい動きが見えてきました。冒頭に述べましたように国のデジタル化が急速に進むものと思いますが、こういった変化を積極的に受け入れて有効活用していただければと思います。

本会のNELS受講申し込み者数は、昨年9月9日時点では447名で、会員数からの登録率は全国的に高く、今後増えていくものと思います。日鍼会eラーニングについては、これまで鍼灸新報に詳しく案内されており、先日届いたNo. 676にもあり、また、ホームページにもアップされていますので、よく読んでいただきますようお願いいたします。

なお、NGKシステムについての続報がありましたら、別途案内させていただく予定です。



広報普及委員会～「コロナ禍だからできることを粛々と」

広報普及委員長 瀧本 一

広報普及委員会での今年度の活動は新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。恒例の県内マラソン大会（津、伊勢、松阪、名張）、わくわくフェスタを始め、松阪マラソンやとこわか大会に向けての準備として愛知ウイメンズマラソン、燃ゆる鹿児島大会視察など、企画していた行事は全て中止となりました。とこわか大会は実施予定ですが、私たちのケアブースは大幅な規模縮小となる予定です。

このように実地での普及活動ができない代わりに、ウェブ上での広報活動に力を注ぎました。昨年3月にマスコットキャラクターの完成とともにオリジナルのラインスタンプをリリースし、5月には新しいホームページを立ち上げました。会員への情報発信とともに、県民のみなさまに鍼灸への理解、鍼灸院との接点を持てるようコンテンツを増やしています。

また、今年からは、各鍼灸院のリポートを行い、鍼灸院の特色や先生方の素顔を会員、県民のみなさまに知っていただき、会員間の交流や鍼灸院へのアクセスに繋げていきたいと思っています。

この1年は人と直接会う機会が激減し、ウェブによる会議や研修が当たり前となりました。これによって情報伝達は問題なく行えるのですが、寂しさを感じるのは私だけではないと思います。他愛もない話やツッコミなどがどれだけ大事かを感じています。唾を飛ばしながら飲食し、笑って語り合う、そんな日が再びくることを切望しています。



青年委員会～「変化を受け入れてプラスの状況へ」

青年委員長 奥山敬太

昨年はコロナ禍の影響もあり、さまざまな場面で変化を求められることが多かったことと思います。なかなか集まることができない中で、全国の動きをみますとセミナーや勉強会はzoomなどを利用してリモートで開催し、現地に行かなくても自宅等で学べるといった、「新しい形」が生まれたのも変化のひとつなのかなと思います。

当たり前であったことができなくなり不安なども多いと思いますが、新たな変化として受け入れて、今の状況を少しでもプラスにできるようにしていきたいと考えています。

他師会の活動については、昨年12月に日鍼会全国青年部長会議がリモートで行われ、この会議を通して知ることができたのも私にとって大きな財産になりました。異業種の方を講師に招いて終活セミナーなどを行っていて、鍼灸とは直接関わっていませんが役に立つ勉強会なども面白い試みだと感じました。

今年もまだまだ集まってる企画とその開催は難しいと思いますが、リモートならではの企画などもできればいいなと考えていますのでよろしくお願いします。



共済委員会～「感染症、その他の万一来に備えて」

共済委員長 加藤はる美

新たな年が始まりましたが、新型コロナウイルス感染症は収束どころかますます勢いを増しております。

昨年は、以前よりも増して患者さんの安全を最優先に考える年になりました。今のところ鍼灸院で新型コロナウイルスに感染したというような報道は聞こえてきておりませんが、会員の皆さんが細心の注意を払って、感染対策に取り組まれているからであろうと推察します。

このような状況は現状を考えれば当面続くと思われますが、今後とも気を緩めることなく万全な感染対策を取り、引き続き安全・安心な鍼灸治療を提供していかなくてはなりません。

一方で、万一感染してしまい、仕事を休まなくてはならなくなった場合も考えておく必要はないでしょうか。

三重県師会がいつもお世話になっている、ハート保険と株式会社あつこ保険事務所が取り扱いをされている保険に加入するのも、私たち自身の安心につながると思います。

同封のパンフレットをご一読いただき、備えを検討される方は直接お問合せ下さい。

『令和2年度第2回機能訓練指導員実務者研修会 in 兵庫』のご案内

『令和2年度第2回機能訓練指導員実務者研修会』を兵庫県神戸市で開催いたします。機能訓練指導員は介護保険制度で位置付けられた役割で、医療・介護分野が主な活動 場所です。本指導員は高齢者人口の増加に伴いますますます活躍が期待されますが、同時に 高い専門知識と技術が求められています。この研修会は、すべての機能訓練指導員となりうる専門職を対象としたもので、2日間の研修を修了すると日本機能訓練指導員協会会長から「認定証」が発行されます。

第1回東京会場の受講者からは、「機能訓練指導の実務に必要な考え方や、高齢者に必要な栄養・口腔ケア・認知症、そして運動指導実技は日々の臨床にも役立つ」と喜ばれています。

■開催日時 令和3年3月7日（日）・令和3年3月14日（日）9時30分から17時00分

■開催場所 兵庫県柔道整復師会館

〒652-0804 神戸市兵庫区塚本通二丁目2番25号

■募集人数 （申込み先着順）

（A）50名 会場へ出向いて受講

（B）100名 パソコンを利用したオンライン受講（Zoomを利用）

■受講料 （テキスト、その他諸経費を含む）

（ア）公益社団法人日本鍼灸師会会員 10000円

（イ）上記会員以外の機能訓練指導員 30000円

※公益社団法人日本柔道整復師会会員は10000円です。

第70回 公益社団法人 全日本鍼灸学会学術大会 福岡大会

健康・医療のブレークスルーと鍼灸～からだところをとらえる五感の医術～



令和という新しい時代の始まりの中で健康・医療の大転換と捉え、混迷する社会情勢、情報社会に際し、多様化する健康・医療に対する新たな価値観を求め、進歩、前進、打破、変革、それが『ブレークスルー』である。令和の医療に鍼灸はどう関わるか？

会 期：令和3年6月4日（金）～6日（日）

会 場：オンライン学術大会（福岡市より発信）

参加費：正会員 8000円 学生会員 4000円 一般 12000円 一般学生 6000円

元会長 福岡保延 先生を偲んで

令和2年（2020年）12月8日に福岡保延先生が永眠されました。（享年93歳）

福岡先生は昭和40年（1965年）4月22日に入会され、昭和46年5月の総会で理事に就任されました。

以来、伊賀支部長、経理部長、総務部長、常務理事などの要職を歴任され、平成6年5月の通常総会で会長に就任されてから平成14年5月までの4期8年間にわたって会長として本会を牽引されました。

平成13年に勇退されてからも相談役として御指導いただき、平成15年春の叙勲において、勲五等瑞宝章を受章されたお姿（右写真）が昨日のように目に浮かびます。

ここに福岡先生を偲び、懐かしい写真で思い出を振り返ってみたいと思います。



S43 研修旅行（伊吹山：中央付近）



S53 年頃のスナップ（左端：福岡先生）



S53 研修旅行（長崎：後列左から5人目）



S54 研修旅行（松山：後列右から5人目）



H7.3 阪神大震災ボランティア（大阪駅）



H8.11 菅厚労大臣から感謝状（医師会館）



H8.10 第1回日鍼会臨床学術大会（東京）



H8.11 近ブロ青年部ソフトボール大会（三重：東洋紡G）



近畿ブロック会議（兵庫）



H11.9 近畿ブロック会議（三重 松阪ハイツ）



13.2 第1回スポーツセラピー三重ケア活動（四日市体育館）



H12. 10 近畿ブロック会議（京都）



H14. 5 会長を勇退される（津Gホテル）



H15. 5 通常総会・懇親会（四日市市）



H15. 7 勲五瑞宝章受章祝賀会（津市）



H17. 2 三重県鍼灸会館地鎮祭（津市栄町）



懇親会（乾杯音頭）



H18. 1 新年祝賀会（津市）



H21. 5. 24 通常総会懇親会



H23. 5 創立 50 周年記念祝賀会



H28. 6 創立 55 周年記念祝賀会（津市）



H29. 6 意見交換会（乾杯：福岡先生）



H29. 6 意見交換会



R1. 5 意見交換会挨拶（ホテルGP 津）



R1. 10 仲野先生叙勲祝賀会でのスナッフ（都ホテル四日市）



福岡保延先生は本会に55年間に在籍され2番目に長い会員歴をお持ちでした。

会長時代の8年間（平成6年5月16日～平成14年5月30日）は、災害地への支援活動、感染防止対策研修の実施、県・市事業（健康フェスタ・市民マラソン等）への参加、県民公開講座、介護支援専門員講習、スポーツ鍼灸ケアチームの立ち上げなどに尽力され、現在の事業基盤を築かれました。

55年間にわたる多大なるご功勞に対して謹んで敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

合掌

一般社団法人三重県鍼灸師会 会長 一見隆彦
役員 会員 事務職員一同

令和2年(2020年)度 学術研修会

第1回学術研修会

9月6日(日) オンライン

運動と体温調節・水分補給について

講師:公立大学法人三重県立看護大学 教授 大西 範和 先生

2020年度はコロナ禍で多くの行事の中止を余儀なくされましたが、9月6日(日)に本会初となる zoom を用いたオンラインで、鍼灸学校に進学を希望する高校生を含めた参加者を迎えて第1回目学術研修会を開催しました。

講師の大西先生は、全日本鍼灸学会創立時の会長である高木健太郎先生の講義を受けられたことがあるそうで、今回の研修会ではそのご縁を感じた次第です。

昨今ではいわゆる猛暑日と呼ばれる日が増加しており、毎年夏には熱中症に関する話題がニュースをにぎわせております。大西先生からは、PC やスマホの画面越しとはなりましたが、体温調整や水分補給の重要性といった生理学的な内容を解説していただきました。

われわれ鍼灸師も一般の患者さんやスポーツ選手の健康に責任を持つ立場として、今回ご講演いただいた内容を正しく理解しておく必要があることを再確認する貴重な機会となりました。



第2回学術研修会

12月13日(日) オンライン

「ポルトガルにおける主要な鍼治療法 - 土屋式鍼治療について -」

講師:明治国際医療大学 特任准教授 鶴 浩幸 先生

鶴先生を講師としてお招きするのは平成29年以来2回目となりますが、今回は留学中のポルトガルから一時帰国中の合間を縫ってご講演いただきました。今回は土屋式鍼治療による実際の症例や治療方法はもちろん、コロナ禍に揺れる現地の状況も含めて解説していただきました。

昨今、世界情勢的にもいわゆる「日本鍼灸」スタイルの鍼灸術が注目を集めてきておりますが、その中でも今回ご紹介いただいた土屋式鍼治療は、普段日本で臨床を行っているわれわれにとっても馴染みが良く、理解しやすい手法である印象を受けました。その治療効果も即効性があり、現地の患者の皆さんの健康管理、健康の維持増進に必要な不可欠な重要な医療であるとの認識を深めることができました。

また、他国で行われている鍼灸治療についての見識を広げ、その治療哲学に触れることは、われわれにとって重要な学びであり、自己の成長につながる貴重な機会であったと思います。

現在、土屋式鍼治療に関するテキストの日本語訳を検討中ということを知ることができました。日本で正式に出版された際には、改めて勉強をしたいと思う内容でした。

(以上報告:学術委員長 奥田一道)

令和元年度～2年度の財団生涯研修会と今後の学術研修会について

令和元年度に研修会参加会員は47名で、そのうち(公財)東洋療法研修試験財団が定める修了証書交付の条件となる25単位以上取得者は9名(岡田賢、天野治、新谷有紀、瀧本一、奥山敬太、一見隆彦、楠原秀一、松山真理子、奥田一道 ※敬称略)でした。

令和2年度はコロナ禍で各種研修会や学会等の中止が相次いだためスケジュールが組めず、生涯研修会の申請をしておりません。(※会員から連絡された研修会への参加は記録しています。)令和3年度は例年通りの研修会を企画していく予定ですが、現在の社会状況や他業種の研修などを鑑みても、今後もオンラインでの研修や行事は増えていくことが予想されますので、研修会の運営方法も社会情勢に応じてオンラインでの研修へと変化させていくことを考えています。各回の研修会案内に同封した「zoom マニュアル」をご参照いただき、新しい研修会様式を取り入れて、オンラインでの研修参加にチャレンジして下さい。(学術委員会)

第3回学術研修会

令和3年1月17日(日) オンライン

受領委任払い制度の現状と今後について

講師:(一社)三重県鍼灸師会 業務執行理事 保険委員長 天野 治 先生

今年度の第3回学術研修会(療養費関連)を1月17日(日)に開催しました。今回は25名の参加者を迎え、毎年おこなっている保険取扱いに関する内容となりました。

「受領委任払い制度」が導入されて間もなく2年が過ぎようとしており、その間にさまざまな変更や改訂が行われていますが、天野先生からは療養費を取り巻く最新の情報とともに、保険審査・請求にかかわる業務において肌で感じたリアルな現状についても説明していただきました。

制度に関する知識を常にアップデートし、最新の状態にしておくことはたいへん重要な作業です。制度を正しく理解して運用することは、それを利用する鍼灸師の責務であると、改めて感じられる研修会でした。

本会も委員、事務職員がレセプトチェックをしていますが、この審査がオンラインになった場合も考えておく必要があります。

今年度を振り返ってみると、当初からコロナに振り回された1年でした。今年度の研修会はこの第3回が最終となりますが、コロナ禍における研修事業のあり方については、社会の動きなども良くとらえた上で検証し、来年度事業を策定して臨みたいと考えています。

(報告: 学術委員長 奥田一道)



スタジオの様なウェブ研修配信会場

第3回三重県慢性疼痛診療研修会

令和2年12月6日(日) オンライン

多職種連携による痛みへのアプローチ

三重大学医学部附属病院痛みセンター主催で、医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、鍼灸師など多職種の方を対象としたオンライン研修が開催されました。

丸山一男先生(医師・教授)による「慢性疼痛の考え方」では痛みの伝導路とその抑制系、感覚と情動との関連について解説が行われ、その対策の多様性と多職種連携の重要性について提案がなされました。成書に明記されていない伝導路について質問を行えたこともよい収穫となりました。

坂本正先生(医師・助教)による「慢性疼痛へのインターベンション治療」では最先端の治療手段を併用することの重要性について解説が行われました。

酒井美枝先生(臨床心理士)による「慢性疼痛患者への心理学的アプローチ」では、最近メディアでも紹介されるようになった痛みによるADL・QOL向上を目的とした心理学的アプローチの一つであるACTについて、演習を交えたうえで講演が行われ、問診の方法とその汲み取り方の重要性を実感しました。

我々鍼灸師が必要とする知識が習得できた同時に、多職種連携を行うことで患者の生活改善方法の選択肢を増やすことが出来ることを学べた研修会でした。

(報告: 四日市支部 宮脇太郎)

三重県鍼灸師会広報ロゴマークを制作しました

昨年から広報普及チームで進めてきた広報用のロゴマークができました。

三重県鍼灸師会のイメージカラーであるグリーンをベースに「MIE」の文字と、鍼、お灸をマークに組み込んでいます。みなさんの鍼灸と患者さんへの愛が表現できたかなと感じていますがいかがでしょうか？

マークの変更はできますので、ご意見あればお待ちしております。

一般社団法人
三重県鍼灸師会
MIE Acupuncture & Moxibustion Association



唯一行われたブロック会議「コロナ禍でも前へ」

今年度のブロック会議は東海北陸ブロックとなって2回目で、39名（ブロック会：愛知3名、静岡3名、富山3名、石川4名、岐阜3名、一社愛知14名、三重6名／日鍼会3名）が参加し、リモートで開催された。

コロナ禍により全国7ブロックのうち開催されたのは東海北陸ブロックだけであったが、本会はこれまで近畿ブロック所属のときから行っていた通り、議案関連の資料（今回は20種）を準備し、6名（一見・岡田・新谷・天野・楠原・奥田）が出席した。

日鍼会の小川会長、中村、大口両副会長から事業報告及び運営指針等の説明がなされ、日鍼会への質問・要望については文書で回答が配布され、確認及び追加質問に回答された。各師会から事前提出された令和元年度事業報告・2年度事業計画書についての意見交換が行われ、メールで行われた師会長会議（令和元年度ブロック事業及び収支報告・ブロック規程変更等）が報告された。

議案の緊急事態（自然災害・新型コロナウイルス感染症）における対応及びブロック会の連携、新型コロナウイルス感染症の影響と各師会の対応、オンライン講習会、令和3年度の会議日程及び開催方法について協議され、コロナ禍における療養費推移については、前年度比較表等の資料を基に意見交換が行われた。次年度は愛知県師会の担当で、日程は2日間の場合も想定して師会長間で調整していくことを申し合わせた。

（報告：総務担当 副会長 岡田 賢）

「変化する時代」に対応～青年部から発信

今年度の全国青年部長会議はZOOMを使ったリモート開催となり、各師会の活動などを知ることができない現在の状況でオンラインの利点を最大限に活用し、コロナ禍のなかで全国から多くの青年部長が参加することができました。

日本鍼灸師会の小川会長は、財務基盤と会員の増強について団塊の世代がドンドン辞めていく中、日本鍼灸師会の魅力を高めるスピーディーな情報発信や、eラーニングのコンテンツを充実させるなど取り組んでいるので、その利用を呼びかけられ、変化する時代に対応して先取りした行動をすべきで、PTや看護師のドライニードル問題にも触れた挨拶をされました。

各師会の活動報告で自己紹介を行い、青年委員長になって、所属している東海北陸ブロックの青年部長の皆さんと初めて顔を合わせることができました。活動報告の大半がコロナ禍によって事業の見合わせや、zoomを利用したりリモート勉強会についてで、皆さんいろいろ苦労されているようでした。

中には終活について異業種の方を講師に招き、鍼灸以外のセミナーを開催しているところもあり、本会の今後の活動の参考になるヒントがたくさんありました。会議中もチャット機能を利用してアンケートを取ったりし、会議の進行の妨げにならないように情報交換が行われるなど、今回のような会議スタイルはたいへん参加しやすく、有意義な時間を過ごせていい経験となりました。

（報告：青年委員長 奥山敬太）

三重県開催「とこわか大会スタッフ」募集！

今秋、三重県で開催される「全国障害者スポーツ大会（とこわか大会）」に向けて、一昨年から県関係者と協議を重ねてコンディショニングルーム開設の準備を進めていましたが、感染防止対策のガイドラインに沿って規模を縮小し、テーピングのみを行うサービスブースとして開設されることとなりました。

スタッフとしての応募資格は「テーピング（固定・伸縮）とアイシングができ、他の医療業種とコミュニケーションを取りながら感染予防をして大会運営に協力し、リスクマネジメントへの意識を持っている方」です。2月15日（月）までに事務所までご連絡ください。

令和2年(2020年)度 理事会報告**臨時理事会****【日 時】** 令和2年9月13日(日) 10:30~12:00**【会 場】** オンライン (Zoom)**【出席者】** 10名(一見、岡田、新谷、奥田、楠原、天野、瀧本、加藤、奥山、竹田)**【決議事項】**

- 第1号議案 療養費定率会費返金請求の件
- 第2号議案 東海北陸ブロック会議の件
- 第3号議案 支部長会議の開催方法 (Zoom 等) の件
- 第4号議案 後期事業予定の件
- 第5号議案 令和2年7月豪雨義援金・支援金の件
- 第6号議案 その他の件 (1) 日鍼会総合賠償保険の件
その他の件 (2) 第2回理事会 (10月11日予定) 開催方法の件
その他の件 (3) Zoom 契約自動更新の件

第2回理事会**【日 時】** 令和2年10月11日(日) 9:00~12:00**【会 場】** オンライン (Zoom)**【出席者】** 9名(一見、岡田、新谷、奥田、楠原、天野、瀧本、加藤、竹田/欠席1名)**【協議事項】**

- 第1号議案 令和2年度上半期事業及び予算執行状況に関する件
- 第2号議案 令和2年度下半期事業の確認及び調整の件

【決議事項】

- 第1号議案 令和3年度事業案及び予算案に関する件
- 第2号議案 公益目的支出計画の実施と今後の事業計画の策定に関する件
- 第3号議案 臨時総会開催の件
- 第4号議案 継続審議 (1) 療養費定率会費返金請求の件
継続審議 (2) 支部長会議の開催方法 (Zoom 等) の件
- 第5号議案 日本鍼灸師会代議員選挙管理委員選任及び代議員・同補欠選出の件
- 第6号議案 第3回DSAM災害支援鍼灸マッサージ師合同育成講習会参加者補助の件

新入会員紹介**これからのご活躍を期待しています！****津支部 令和2年(2020年)10月5日 入会****濱口 紗耶佳**

出身校：兵庫鍼灸専門学校 (平成30年4月免許取得)

勤務先：さや鍼灸院

一言：患者さまの痛みや不安、お身体の悩みごとなどに親身に対応し、安心して治療を受けていただけるよう日々努力していきます。
よろしくお願い致します。

共済委員会より『鍼灸賠償責任保険制度』についてのお知らせ

日鍼会では、新たに都道府県師会全員加入「鍼灸賠償責任保険制度」の導入が検討されており、現在の三井住友海上との契約を残しつつ、東京海上日動火災保険会社との完全一括契約を進めています。

現在の三井住友海上では5プラン用意されており、個々にあったプランで加入して頂いていますが、東京海上日動火災保険では、『鍼灸賠償責任補償限度額 1 事故 1 億円プラン 6010 円/年』のプランのみとなります。

下の表（上）から、会員の約 60%の方が新たな東京海上日動火災保険会社のプラン（下のカラー表）よりも安い賭け金の保証（支払い限度額 50 30 20）を選んでいきます。

「鍼灸賠償責任保険制度」は、都道府県鍼灸師会会員が全員加入をした場合が条件となり、今後、日鍼会と各都道府県の師会間で協議・調整が進められますが、現状が新規移行かを検討していくことになります。

（共済委員会 加藤はる美）

■三井住友海上 5 プランの三重県鍼灸師会会員加入状況

基本契約	セレクトプラン	支払限度額	身体賠償 (鍼灸師業務危険)		身体賠償 (施設危険)		財物賠償 (施設危険)	加入者数 (増減人数)		
			1 事故	期間中	1 事故	1 名		施術所 開設者	勤務 鍼灸師	非会員 使用人
		S300	3 億	3 億	3 億	3 億	3 億	7	0	0
		DX100	1 億	3 億	1 億	5 千万	1 千万	23	1	0
		50	5 千万	1 億 5 千万	5 千万	2 千 5 百万	5 百万	24	1	0
		30	3 千万	9 千万	3 千万	1 千 5 百万	2 百万	4	1	0
		20	2 千万	6 千万	2 千万	1 千万	2 百万	16	6	0
								74	9	0

■都道府県師会全員加入「鍼灸賠償責任保険制度」

基本補償				任意オプション				
鍼灸師賠償		1事故	1億円	柔道整復師賠償		1事故	5,000万円	
		保険期間中	3億円			保険期間中	1.5億円	
施設賠償 (*)	対人	1名	5,000万円	情報漏えい 賠償	賠償	1請求	1,000万円	
		1事故	1億円			保険期間中	1,000万円	
	対物	1事故	1,000万円		対応費用	1事故・1請求	100万円	
初期対応費用担保特約(※1)		50万円	保険期間中			100万円		
基本補償	施術所の開設者 (日本鍼灸師会会員)		6,010円		柔道整復師 オプション	施術所の開設者 (日本鍼灸師会会員)		5,160円
	勤務鍼灸師 (日本鍼灸師会会員)		5,520円	柔道整復業務のみを行う 勤務柔道整復師		1,550円		
	勤務鍼灸師 (非日本鍼灸師会会員)		1,540円	鍼灸業務および柔道整復業 務を行う者		1,550円		
(※) 免責金額 1千円				情報漏えいオプション				3,000円

<ご参考> ■総合賠償保険（既存制度）

基本補償				任意オプション				
鍼灸師賠償		1事故	1億円	柔道整復師賠償		1事故	5,000万円	
		保険期間中	3億円			保険期間中	1.5億円	
施設賠償 (※)	対人	1名	5,000万円	情報漏えい 賠償	賠償	1請求	2,000万円	
		1事故	1億円			保険期間中	2,000万円	
	対物	1事故	1,000万円		対応費用	1事故・1請求	200万円	
被害者治療費用補償特約			50万円			保険期間中	200万円	
基本補償	施術所の開設者 (日本鍼灸師会会員)		6,910円	柔道整復師 オプション	施術所の開設者 (日本鍼灸師会会員)		5,450円	
	勤務鍼灸師 (日本鍼灸師会会員)		5,430円		柔道整復業務のみを行う 勤務柔道整復師		3,280円	
	勤務鍼灸師 (非日本鍼灸師会会員)		3,460円		鍼灸業務および柔道整復業 務を行う者		2,730円	
(※) 免責金額 1千円				情報漏えいオプション				3,340円

令和2年(2020年)度 支部長会議 報告

7月に開催予定していた支部長会議は、コロナ禍によって延期となりましたが、研修事業とともにオンライン（Zoom）での準備を進め12月に開催しましたので、以下のとおり概略を報告します。（組織委員長 楠原秀一）

【日 時】令和2年12月13日（日）10:00～11:45

【出席者】6名：一見（会長）、楠原（組織委員長）、河村（鈴鹿・亀山）、末永（伊賀）、新谷（松阪）、奥山（伊勢・鳥羽）（欠席は桑名、津、尾鷲・熊野の4支部長）

【議 題】

1. 令和元年度支部活動の報告（事前提出資料確認）
2. 師会事業への意見・要望等（回答：7支部長）
3. 災害時の対応と緊急連絡網の活用について（名簿・緊急連絡網更新版配布）
4. 普及事業における開催地域の取り組みと会員の参加協力について
5. 入会審査方法の確認
6. 新型コロナウイルスに関して（1）自助・共助・公助に関して（2）感染予防対策（3）備蓄に関して（4）三重県鍼灸師会HPリニューアル

今年12月までの報告では、各支部の活動及び普及事業の5カ所で予定していた活動（伊勢・津・松阪2カ所・名張の県・市主催イベント）が中止となり、各地区とも計報時の連絡をとる程度で、その他は必要に応じて個々に連絡を行っていたとのことであった。支部LINE、支部MLで情報発信及び共有を行った支部もあった。

会員の緊急連絡網については整備が進んでおり、会員100名中99名のメールアドレス登録が完了し、不定期の連絡・更新ではあるが、会員メール、ホームページで最新情報を確認していただきたい。

本会事業及び支部活動への対応は支部によって異なるが、事業は会員交流も目的としている。事業において支部に一部担当の協力要請を行いながら会員の参加意識を確認し、参加しやすいよう研修会及び意見交換会等の準備に関して支部協力を検討していきたいと考える。

COVID-19の影響により、一時期は臨床で使用する衛生資材等の購入に苦勞し、不安を感じた会員の問い合わせも若干名あった。衛生材料については消毒液32リットルを確保して4月初旬に会員間での提供協力（共助）要請を行ったが、会員からの協力の申し出はなかった。これは他師会に確認してもほぼ同様の回答であったが、個々でのやりとりの報告はあった。現在、会では消毒液32リットルを備蓄し、個人提供可能分と合わせて50リットルを用意できるようにしている。今後、不測の事態に備えて、万一の場合は会員間での共助協力がスムーズ行えるように情報交換が必要になってくる。

年末より感染が拡大しているので、会員メールで配信した三重県の「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた三重県指針 Ver. 7」と、日鍼会の「新型コロナウイルス感染症に対する対応と感染症対策第6版」を引き続いて徹底して行っていただきたい。三重県鍼灸師会ホームページをリニューアルし、研修会・イベント及び各案内などの連絡はほぼリアルタイムにホームページへ掲示している。

会員は災害時などの万一に備えて水等の食料同様に資料及び衛生材料（鍼・艾・消毒液・マスク）だけでなく、日常生活の消耗品（ペーパー類、石鹸、照明器具、暖房器具、灯油等）を備蓄する必要がある。県・市は、個々の備蓄は最低1ヶ月分程度と回答があったが、今回の新型コロナウイルス感染症のような事態が起こればそれでは不十分であり、最低3ヶ月分の備蓄は必要であろうとの意見があった。

経済支援策情報 行政の行う各種支援は「申請主義」です。

● 持続化給付金 ● 雇用調整助成金 ● 資金貸し付け支援 ● 税制支援措置 ● 特別定額給付金 ● 家賃支援給付金など 各申請の詳細内容については各省庁のホームページでご確認ください。

私たちの金メダルは、あなたの元気です。

人に寄り添い、元気をサポートするのは、東洋医療の得意技。

スポーツの現場でも中和の卒業生が大勢活躍しています。



Chuwu Professional Training College of Medical Care

厚生労働大臣認定・愛知県知事認定・指定 学校法人 葛谷学園



中和医療専門学校

Chuwu Professional Training College of Medical Care

(公社)東洋療法学校協会・(公社)全国柔道整復学校協会加盟校

文部科学大臣認定 職業実践専門課程

あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科(本科)

はり、きゅう科(専科)

柔道整復科I部(昼間部)

柔道整復科II部(夜間部)

〒492-8251 愛知県稲沢市東緑町1-1-81

TEL 0587-23-5235

FAX 0587-23-5237

www.chuwa.ac.jp

Webサイトはこちら



表紙写真 「松阪の巨大アマビエ」

「もしも疫病が流行したら、私の姿を描いた絵を人々にみせなさい…」江戸時代から伝説として語られる「アマビエ」は、新型コロナウイルスの大流行を機に2020年の新語・流行語大賞でトップ10を果たすなど、一大ムーブメントを引き起こしました。

松阪市飯南町の峠に現れた高さ6メートルの巨大アマビエは、「無病息災」「疫病退散」の願いを込めて地元の仁柿協議会が稲ワラで作ったモニュメントです。

5月中旬まで展示されているようなので、森林浴と共に願かけに出かけてみてはいかがでしょうか？行き方などの詳細は、地元の新谷理事にお問合せください。



編集後記

昨年娘が誕生し3人の父親となりました。嬉しさと同時に、いつまで自分はこの子たちのために働き続けるのだろうと考えました。下の子が成人したら自分は60過ぎ、まだまだお金も手間もかかりそうです。昨年末の福岡先生のお通夜に出向き、90歳を過ぎても臨床現場に立ち続けられていた姿を感じ、目標を「85歳まで現役」とすることに(控えめに)しました。40歳を過ぎて少したるみはじめた肉体と精神をもう一度鍛えなおし、治療スタイルも足腰が弱くなくてもできるように…。計画を立て始めていたところに妻から一言。「4人目も考え始めている」だそうです。僕の人生設計もまだまだ道半ば。先輩みなさんのご意見を伺いながら今年も頑張ります！ (T)

一般社団法人 三重県鍼灸師会 会報 第127号 (令和3年2月1日発行)

発行者

一般社団法人三重県鍼灸師会 会長 一見隆彦

〒514-0004 三重県津市栄町二丁目325番地

電話 059-227-3345 e-mail harikyuu_mie@vesta.ocn.ne.jp

発行責任者

瀧本 一(広報・普及委員長)・奥山敬太(広報・普及副委員長)

表紙写真提供

新谷有紀

東京海上日動のトータルアシストからだの保険(所得補償)

所得補償はケガや病気で働けない期間
あなたの所得を補償する保険です。

業務中・日常生活を問わず補償

業務中はもちろん、レジャーや海外旅行中の
ケガ・病気で仕事を休まれた場合、保険金をお支払いします。

入院はもちろん自宅療養もカバー

治療のために入院していること、または入院以外で医師の治療を
受けていることにより、全く働けない場合に保険金をお支払いします。



保険期間1年	
保険金額(日額)	
所得補償	1日あたり5,000円 (免責日数7日) (てん補日数365日)

お支払いいただく保険料					
ご契約年齢 お支払い方法	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
月払	2,720円	3,250円	3,770円	4,030円	4,240円
年払	31,090円	37,110円	43,040円	46,050円	48,440円

上記はご契約パターンの一例です。これ以外のパターンをご希望の場合は代理店にご照会下さい。

※ご契約年齢は、被保険者(保険の対象となる方)の保険期間開始時の満年齢をいいます。

※所得補償保険金額(日額)は、年間所得額に応じて設定ください。

「被保険者様が加入されている公的医療保険制度(国民健康保険またはそれ以外)によって保険金額の設定が異なります。」

返れい金のお支払いはありません。(2013年10月改定)

ご加入の際、医師の診査は不要です

健康状態告知書にあなたの健康状態を正しくご記入いただければOKです。

※ご記入いただいた内容によっては、ご加入をお断りしたり、弊社の提示するお引受け条件によってご加入いただくことがございます。

※ご契約後に保険のご契約内容・告知内容等について、確認のお電話をさせていただくことがございます。

「トータルアシストからだの保険(所得補償)」は傷害総合保険(所得補償条項)のペットネームです。

このチラシは傷害総合保険(所得補償)の概要についてご紹介したものです。ご契約にあたっては必ず『重要事項説明書』をよくお読み下さい。

また詳しくは『ご契約のしおり(約款)』をご用意しておりますので、必要に応じて、代理店にご請求ください。

ご不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ先)

◇取扱代理店

株式会社あつこ保険事務所 代表取締役 奥井 あつ子

〒510-0085

四日市市諏訪栄町5-16-2F

Tel/Fax 059-350-2433

◇引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社

担当支社 四日市支社

〒510-8515

四日市市鶴の森1-3-20 萩ビル6F

Tel 059-354-8613

2020年5月作成 20-TC00638

お悩みやニーズに合わせて ジャストフィットな一台を。

**TAKARA
BELMONT**

サイズ・カラーを組み合わせて選べる新・カスタムオーダーシステム。

STEP
1 本体ベースを選ぶ

CS series

EX-CS2 オートリターン

様々な用途に活かせる
スタンダードタイプ



EX-CS3 プリセット オートリターン
ソフトスタート・ストップ

プリセット & オートリターン機能
搭載タイプ



EX-CS6 フリーキャスター オートリターン
プリセット ソフトスタート・ストップ

自在に移動できる
フリーキャスター採用さいぶ



SJ-100

電動アクチュエーター式の
堅牢設計モデル



Superior Bed (スーペリアベッド)

4つ足式の固定ベッド



SJ series

受注生産

有孔天板
(孔クッション)

うつ伏せでの診察に
便利です。

※別途、費用が必要です。



STEP
2 天板サイズを選ぶ



長さ
1800 mm / 1900 mm

幅
600 mm / 650 mm
700 mm / 800 mm

※スーペリアベッドの幅は、
600 mm/650 mm/700 mmのみ

STEP
3 天板カラーを選ぶ

全 24 色から選べる
天板カラーラインアップ

お部屋のイメージにあった
カラーをお選びいただけます。

販売名 診察台 EX-CS2：製造販売届出番号 27B1X00042000069
販売名 診察台 EX-CS3：製造販売届出番号 27B1X00042000070
販売名 診察台 EX-CS6：製造販売届出番号 27B1X00042000071
販売名 診察台 SJ-100：製造販売届出番号 27B1X00042000017

タカラベルモント株式会社

<http://www.takarabelmont.co.jp>

メディカル名古屋営業所 名古屋市東区芳野 1-15-7 (TEL) 052-931-5163 / (FAX) 052-931-7235



日本初の4年制
医療系大学



SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

鈴鹿医療科学大学

医療・福祉の総合大学でスペシャリストをめざす。



保健衛生学部

- 鍼灸サイエンス学科 鍼灸・スポーツトレーナー学専攻
鍼灸学専攻
- 放射線技術科学科
- 医療栄養学科 管理栄養学専攻
臨床検査学専攻
- リハビリテーション学科 理学療法学専攻
作業療法学専攻
- 医療福祉学科 医療福祉学専攻
臨床心理学専攻

医用工学部

- 臨床工学科
- 医療健康データサイエンス学科※

※ 2021年4月、医用情報工学科を改組し、「医療健康データサイエンス学科」を開設予定。ただし、設置申請中のため、予定は変更となる場合があります。

薬学部

- 薬学科

看護学部

- 看護学科

大学院

- 薬学研究科 医療薬学専攻
- 医療科学研究科 医療科学専攻
- 東京サテライト (社会人コース)

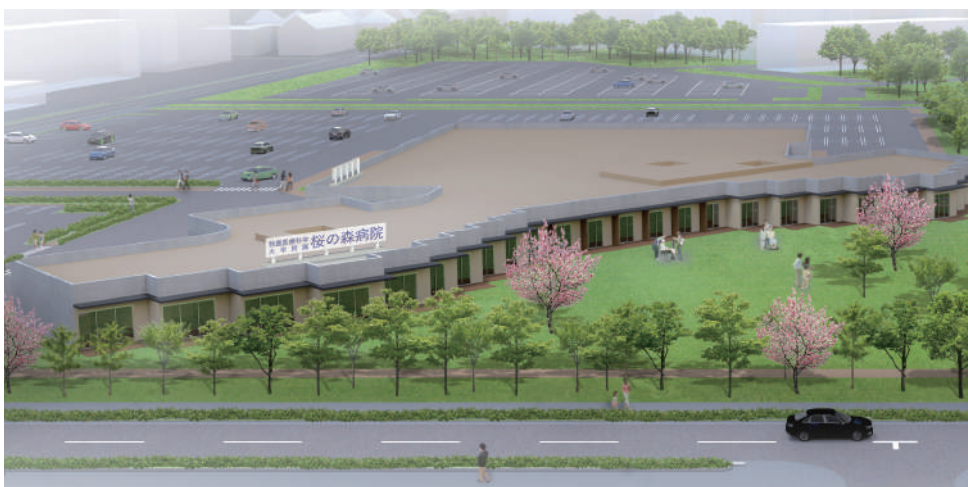
■ 千代崎キャンパス (保健衛生学部・医用工学部)

〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町 1001 番地 1
TEL: 059-383-8991 FAX: 059-383-9666

■ 白子キャンパス (薬学部・看護学部)

〒513-8670 三重県鈴鹿市南玉垣町 3500 番地 3
TEL: 059-340-0550 FAX: 059-368-1271

2021年春「鈴鹿医療科学大学附属 桜の森病院」開設予定 (緩和ケア専門病院)



2021年春、白子キャンパス内に「鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院」を開設します。医学部・歯学部を擁しない医療系大学が附属病院を有するのは全国でも僅かであり、大学附属の完全独立型緩和ケア病院の開設は全国初となります。医療・福祉のスペシャリストを養成する本学には、緩和ケアに携わる専門家が多数在籍しており、看護、薬学、福祉、心理、栄養、鍼灸、理学療法、作業療法などの多職種連携による充実したケアが実現できます。学生の実習教育の場としても活用し、最前線でチーム医療を学ぶことで、教育のレベルアップと人材育成を図ります。



特別室



食堂兼デイルーム

鍼灸師と受療者をつなぐ、新しいカタチ。

鍼灸つながる プラットフォームTM

業務を効率化し、
人件費を
削減したい！

リピート率を
上げたい！

自宅から気軽に
相談したい！

自分の症状に合った
鍼灸院を探したい！

広告を出さずに
集客したい！

価格や施術内容など
鍼灸に対する不安
を解消したい！

すべて解決します！

匿名化されたデータで
受療者と鍼灸院をマッチング



評価・施術記録など
データ蓄積

鍼灸院と受療者で
直接やり取り

アプリ連動による
双方向コミュニケーション



鍼灸院向けアプリ
「鍼灸つながるカルテ」



受療者向けアプリ
「はりのマイカルテ」



オンライン
予約



チャットによる
予後確認・相談



電子カルテ共有・
自宅ケア

etc...

